

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 剰余金の配当(期末配当金)の基準日 毎年3月31日
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
☎ 0120-094-777 (通話料無料)
- インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/>
- 公告の方法 電子公告の方法により行います。
公告掲載URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp>
不測の事態により電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞・神戸新聞に掲載します。
- 上場証券取引所 大阪証券取引所 市場第2部

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お手続き・お問い合わせ先
●お取引の証券会社等の口座で管理されている当社株式に関する 配当金振込指定、単元未満株式買取請求、住所変更等のお手続き	お取引口座を開設されている証券会社
●未受領の配当金に関するお手続き ●特別口座で管理されている当社株式に関する配当金振込指定、 単元未満株式買取請求、住所変更等のお手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)

▶特別口座について

特別口座では、株式のご売却はできません。
証券会社に口座を開設いただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、株式のご売却が可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも当該証券会社で一括して行えるようになり便利です。

- この報告書についてのお問い合わせは右記までお願いいたします。 株式会社ノザワ TEL 078-333-4111



この報告書は、環境に配慮した植物油インキを使って印刷しています。



株主のみなさまへ

第151期 中間報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

“不燃建材のリーディングカンパニー”として、 社会の「やすらぎと安心の創造」をめざして 事業の拡大に努めてまいります。



世界に先駆けた商品や工法開発に努め、
業界をリードします。

1906年、外国産スレート板の輸入を開始以来、セメント建材一筋に歩んでまいりました。建材のパイオニアを常に志し、スレート生産の国内化、加工革命を起こした「パームライト」、世界に先駆けた押出成形セメント板「アスロック」の独自開発、高層建築向け押出成形セメント板カーテンウォール「アルカス」の開発など、技術革新に邁進しています。



住友不動産渋谷ファーストビル

品質、デザイン、コストのバランスに富む外装・
内装材として、高い評価を得ています。

主力製品「アスロック」は、今年、発売40周年を迎えました。軽量・高強度で、耐火性、耐候性、遮音性、耐震性に優れた高性能建築材料として、日経BP社発行の建築総合情報誌「日経アーキテクチュア」2010年9月27日号の「2010年版建材・設備メーカーランキング」押し出し成形セメント板などの外装材部門で5年連続第1位に選ばれました。



読者を対象に、建材・設備メーカーの製品採用意向等をアンケート調査
2010年9月27日号

※「日経アーキテクチュア」2010年9月27日号P59-P81から転載

顧客ニーズの先取り

研究開発体制の強化
新押出技術の開発

建材事業の拡大

建設部材・システムの
開発型企业

海外事業の拡大

環境対策事業の拡大

建築・住宅・土木市場で安定的な
商品供給に努めています。

企業体質と企業競争力を強化し、今後も進化成長を続けるために、研究開発体制の拡充を図っています。新商品開発のリードタイム短縮、次世代の分野別商品開発を目的とした中長期を見据えた素材技術研究体制を確立するとともに、環境問題や資源循環型社会に適した建材及びシステムの研究を推進。新商品の市場定着と顧客プロジェクトへの積極的な対応を行っています。

農業用肥料や太陽光発電システムの融合の他、
海外事業で受注拡大をめざします。

環境対策事業では、産学共同で開発した農業用肥料「マインマグ」の販売を開始した他、太陽電池を一体化した外壁システム等で市場拡大を図ります。海外事業では、特に中国市場において、海外市場に適応した商品・工法の開発を行うとともに、増員効果による拡販に努めてまいります。



アスロックソーラーウォール
(特許出願中)

トータルコストダウンを実現し、強固な増収
増益企業への体質改善を行っています。

品質・納期・コストの優位性を推進するため、NNPS（ノザワ・ニュー・プロダクション・システム）活動を全部門で展開。トータルコストダウン、リードタイムの短縮を実現し、増収増益体質への転換を急いでいます。販売体制についても市場や商品別の責任体制を明確化し、地域・顧客・商品・価格別の拡販、顧客ニーズに適した用途拡大を展開しています。



代表取締役社長 野澤 俊也

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社第151期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の「中間報告書」をお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

平成22年12月

■ 当第2四半期の取り組みと成果

【建築着工の長期低迷などで減収減益に】

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出産業など一部で緩やかな回復の兆しがみられたものの、雇用情勢は依然として厳しく、個人消費も低迷が続き、先行き不透明な状況で推移しました。建築材料業界でも、公共事業の大幅削減、建築着工の長期低迷、競争の激化などにより引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社が開発した押出成形セメント板「アスロック」は今年、発売40周年を迎えました。これを記念し、「アスロック」のさらなる可能性を広げるため、斬新なパネルのデザインを自由に提案いただく「アスロック フリーデザインパネルキャンペーン」を展開しております。また、商品群及び新工法の充実を図るべく、高層建築市場向けに、押出成形セメント板カーテンウォール「アルカス」（新押出成形セメント板 外壁等圧目地無足場工法）を発売、第1号物件として施工された高さ120mの超高層ビルは施工性・性能・意匠など好評価をいただき、現在第2号物件として来年施工予定の100m級超高層ビルを受注するなど、積極的な営業展開を行いました。

また、押出成形セメント板「アスロック」と太陽電池を一体化した外壁システム「アスロックソーラーウォール」（特許出願中）を発売しました。建築外装に要求される各種の性能を満足させつつ、太陽光発電システムとの融合を図り、中高層ビルなど屋上の設置スペースが小さい建物でも太陽光発電が可能となり、既に第1号物件は施工中です。

生産部門では、内製化を推進し外注費を削減。生産数量の増減に対応した柔軟かつ機動性のある運転体制を行いました。また、埼玉工場のライン改造を実施し、新押出技術の開発を進め、さらなる品質向上を図りました。海外事業では、営業人員を増員し営業を強化しました。管理部門では、

IT活用による効率アップなどコストダウンに取り組みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、69億75百万円（前年同期比20.2%減少）となりました。品種別の売上高につきましては、押出成形セメント製品では、主力の押出成形セメント板「アスロック」は40億97百万円（前年同期比17.9%減少）、住宅用軽量外壁材は6億73百万円（前年同期比17.8%減少）となりました。スレート関連は5億80百万円（前年同期比2.5%増加）と堅調に推移しましたが、耐火被覆工事は5億2百万円（前年同期比37.3%減少）、アスベスト除去工事は2億29百万円（前年同期比31.6%減少）となりました。

利益面については、生産性向上や外注費削減などによる製造原価低減などコストダウンに努めたものの、競争激化による販売価格の下落などにより営業損失51百万円（前年同期は2億95百万円の営業利益）、経常損失92百万円（前年同期は2億38百万円の経常利益）となりました。四半期純損失につきましては、有価証券評価損42百万円等を計上した結果、1億38百万円（前年同期は3億8百万円の四半期純利益）となりました。

■ 通期の見通し

【建材・環境対策・海外事業拡大で苦境打破へ】

今後のわが国経済の見通しにつきましては、企業収益の改善により持ち直しはみられるものの、急激な円高の進行、株価下落及び資源高騰への懸念、公共投資の削減などにより予断を許さない状況が続くと思われま。建築材料業界では、設備投資、住宅市場ともに低水準が長期化しており、公共事業の大幅削減から今後さらに厳しい状況で推移することが予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、顧客ニーズを

先取りした新商品・新工法開発により、建材事業・環境対策事業・海外事業の拡大に取り組みます。

建材事業につきましては、押出成形セメント板「アスロック」の外壁高性能2次防水工法「セフティシール工法」に、高い止水性を発揮する特殊水膨張ウレタンフォームを押出成形セメント板のシール材として初めて採用し、大幅なコスト削減を実現した「セフティシール工法 タイプM」を開発。また、押出成形セメント板「アスロック900」に新デザインパネル「シェイドロック」と従来のデザインパネルのワイドモジュール版を同時発売。いずれもモジュールを600幅から900幅へ広げたことにより建物の外観をダイナミックに見せることを可能としました。「シェイドロック」は、表面の特殊形状（意匠登録出願中）により、射光時に凹凸の陰影によって壁面全体を立体的・幻想的に表現することができるデザインパネルとして、拡販に努めてまいります。

環境対策事業につきましては、農業分野での環境保全型農業に応える資材として、ケイ酸と苦土を主成分とする肥料「マインマグ」の販路拡大を図ります。

海外事業につきましては、海外市場に適應した商品・工法の開発を行うとともに、増員効果による拡販に努めてまいります。

生産面においては、NNPSによる品質の向上と納期の短縮、需要動向に即応した生産体制により収益向上を図り、管理面では、トータルコストダウンをさらに推進するとともに、有利子負債の圧縮により財務体質を改善し経営基盤を強化します。

これらの積極的な事業展開により、当連結会計年度は、売上高147億円、営業利益2億20百万円、経常利益1億50百万円、当期純利益60百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支持を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当第2四半期連結会計期間末 平成22年9月30日現在	前連結会計年度末 平成22年3月31日現在
■ 資産の部		
流動資産	6,607,761	7,348,276
現金及び預金	2,272,682	2,732,386
受取手形及び売掛金	3,326,956	3,354,039
たな卸資産	574,659	639,444
その他	450,782	647,234
貸倒引当金	△17,319	△24,828
固定資産	13,692,649	13,842,230
有形固定資産	11,110,753	11,200,484
建物及び構築物	2,625,938	2,688,938
機械装置及び運搬具	974,803	1,005,940
土地	7,284,080	7,284,080
その他	225,930	221,525
無形固定資産	15,501	15,909
投資その他の資産	2,566,394	2,625,835
投資有価証券	1,350,236	1,422,840
その他	1,262,078	1,294,928
貸倒引当金	△45,920	△91,933
繰延資産	694	867
資産合計	20,301,105	21,191,374

(単位：千円)

科 目	当第2四半期連結会計期間末 平成22年9月30日現在	前連結会計年度末 平成22年3月31日現在
■ 負債の部		
流動負債	4,895,595	6,159,560
支払手形及び買掛金	2,040,798	2,056,849
短期借入金	1,828,000	2,848,000
賞与引当金	162,500	179,150
その他	864,296	1,075,560
固定負債	7,592,103	7,012,002
社債	20,000	30,000
長期借入金	3,411,000	2,885,000
再評価に係る繰延税金負債	2,277,849	2,277,849
退職給付引当金	1,275,958	1,223,930
その他	607,294	595,222
負債合計	12,487,699	13,171,562
■ 純資産の部		
株主資本	4,694,434	4,879,666
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	821,418	1,006,394
自己株式	△46,556	△46,299
評価・換算差額等	3,118,971	3,140,145
その他有価証券評価差額金	△21,426	△253
土地再評価差額金	3,140,398	3,140,398
純資産合計	7,813,406	8,019,811
負債純資産合計	20,301,105	21,191,374

■ 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

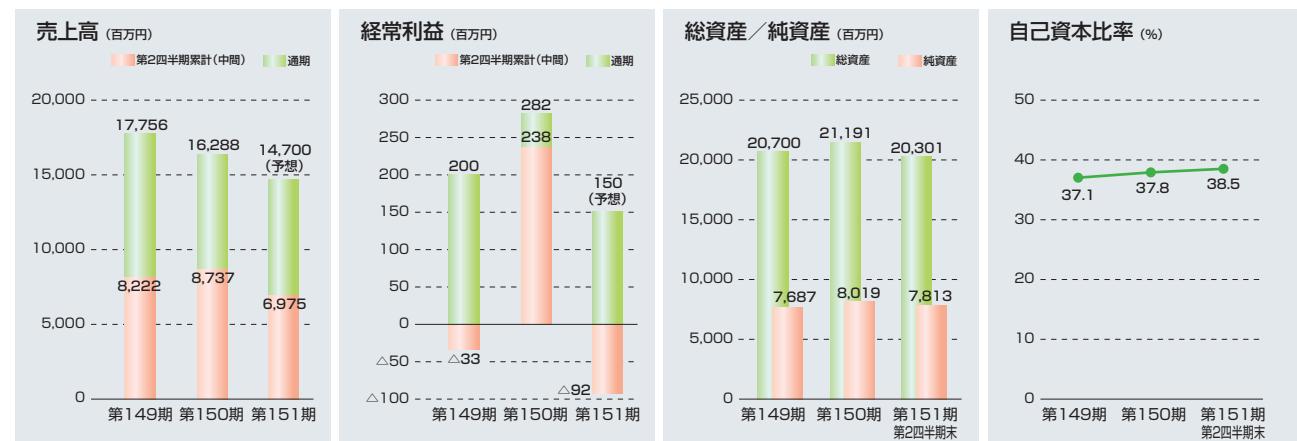
科 目	当第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
売上高	6,975,751	8,737,362
売上原価	5,105,617	6,469,547
売上総利益	1,870,133	2,267,815
販売費及び一般管理費	1,921,597	1,972,631
営業利益又は営業損失(△)	△51,464	295,184
営業外収益	46,147	44,198
営業外費用	87,199	100,967
経常利益又は経常損失(△)	△92,515	238,415
特別利益	9,835	222,133
特別損失	52,801	1,040
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△135,482	459,508
法人税、住民税及び事業税	13,875	188,965
法人税等調整額	△11,064	△37,570
法人税等合計	2,811	151,394
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△138,293	308,114

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	196,467	343,540
投資活動による キャッシュ・フロー	△97,640	163,318
財務活動による キャッシュ・フロー	△558,530	△138,629
現金及び現金同等物の 増減	△459,703	368,228
現金及び現金同等物の 期首残高	2,732,386	1,487,620
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,272,682	1,855,849

■ 連結決算ハイライト



「アスロック」900幅 デザインパネルを3品種同時発売。 ダイナミックな壁面、斬新なデザインを表現します。

New 900 Design Panel

タスロック900



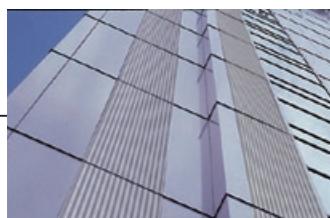
ストライプライン900



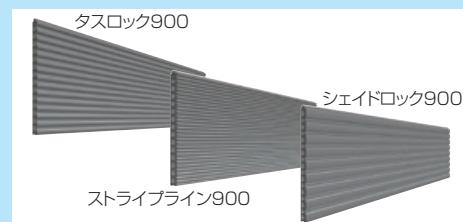
シェイドロック900



ランダムな組み合わせ



ストレートな組み合わせ



本年6月に発売したデザインパネル3品種は、ダイナミックな900幅タイプの新バリエーションとして、「アスロック」の魅力である『重厚感』をより楽しみにいただける

商品として生まれました。ご好評をいただいている600幅シリーズ「タスロック」「ストライプライン」に、900幅シリーズをラインナップ。新たに900幅専用デザイン「シェイドロック」も発売しました。「シェイドロック」は、リブ底に山形の傾斜を設けることで、リブのラインをよりシャープに表現するとともに、射光による凹凸の陰影によって壁面全体を立体的・幻想的に演出します。

農業用肥料「マインマグ」展示会へ出展。

平成22年10月、国際フラワーEXPOで開催された「農業資材フェア」、東京農業大学土壌研究室が主宰する「全国土の会 青森大会」にそれぞれ出展しました。「農業資材フェア」では、新ラインナップで魅力を増す「マインマグ」シリーズのPRを通じてご来場者に関心を深めていただくとともに、数多くのご採用、ご検討をいただきました。「全国土の会青森大会」では、会長講演の中で全国土の会の認定資材として紹介され、展示コーナーでは施用効果に関する実証例を通して認知の拡大に努めました。「マインマグ」は、平成22年度の使用実績でも水稲やウリ科野菜を中心に高い評価をいただいております。今後とも様々な機会を通じて環境保全型農業の推進や農作物の高付加価値化への貢献をめざします。

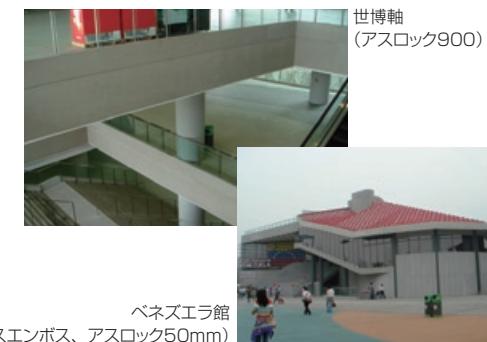


上海万博REPORT

上海駐在所から

「世博軸」と「ベネズエラ館」で活躍する当社の外装・内装材「アスロック」

「より良い都市、より良い生活」をテーマに、246の国・地域・国際機関が参加し、入場者7,300万人という万博史上最大規模で行われた上海万博では、当社の外装・内装材「アスロック」が内外を代表するパビリオン建築に使われ、大活躍をしました。会場中央に位置する上海万博のランドマーク建築物「世博軸」では、軸の各館を移動するエスカレータ周辺の壁面に、また、「ベネズエラ館」では、ほとんどの外壁に「アスロック」が使われるなど、世界的な舞台でも当社の製品の実力が認められています。



ベネズエラ館
(タスエンボス、アスロック50mm)

世博軸
(アスロック900)

■ 会社概要

社名 株式会社ノザワ
NOZAWA CORPORATION

創業 明治30年8月17日

設立 大正2年9月28日

資本金 24億4,900万円

従業員数 331名 (連結)

子会社 株式会社ノザワ商事
株式会社ノザワトレーディング

■ 役員

代表取締役社長 野澤俊也
専務取締役 佐々木三七司
専務取締役 豊田和冲
常務取締役 三原伸夫
常務取締役 山口幸久
常務取締役 田淵義章
取締役 坂本茂紀
取締役 吉永田豊
常勤監査役 堀田祐展
社外監査役 浦正喜

■ ネットワーク

● 本社 〒650-0035 神戸市中央区浪花町15番地 TEL078-333-4111 (代)

● 支店・営業所

- 札幌支店 札幌市中央区大通西1丁目14番2 (第2有楽ビル)
- 仙台支店 仙台市青葉区本町1丁目1番8号 (第一日本オフィスビル)
- 東京支店 東京都中央区新川1丁目24番8号 (東熱新川ビル)
- 名古屋支店 名古屋市中区名駅3丁目10番17号 (IT名駅ビル2号館)
- 北陸営業所 金沢市本町1丁目5番1号 (リファール)
- 関西支店 神戸市中央区浪花町15番地
- 広島支店 広島市中区小町3番25号 (三共広島ビル)
- 松山営業所 松山市大手町2丁目9番地4 (石丸ビル)
- 九州支店 福岡市博多区博多駅前1丁目4番4号 (JPR博多ビル)

● 研究所

技術研究所 埼玉県深谷市大字折之口稜威ヶ原1851番地4

● 工場

- フラノ事業所 北海道富良野市字山部1596番地4
- 埼玉工場 埼玉県比企郡吉見町大字長谷1947番地
- 播州工場 兵庫県加古郡播磨町古宮
- 高砂工場 兵庫県高砂市高須1番1号

● 海外駐在所

上海駐在所 上海市延安西路2299号 上海世貿商城10F A55



■ 株式の状況

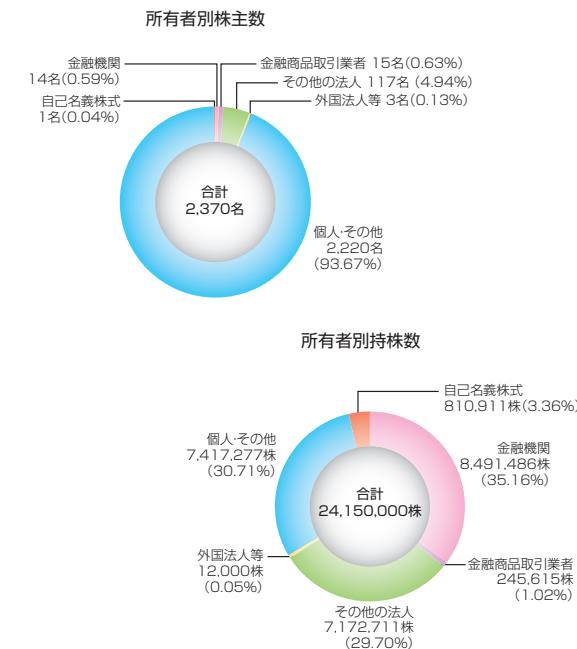
発行可能株式総数 60,000,000株
発行済株式の総数 24,150,000株
株主数 2,370名

■ 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本興亜損害保険株式会社	1,749	7.49
日本生命保険相互会社	1,744	7.47
株式会社三井住友銀行	1,153	4.94
神栄株式会社	973	4.16
ケーオーディー株式会社	836	3.58
東京海上日動火災保険株式会社	724	3.10
ノザワ従業員持株会	643	2.75
CBC株式会社	603	2.58
三井住友海上火災保険株式会社	577	2.47
日工株式会社	568	2.43

(注) 持株比率は自己株式 (810,911株) を控除して計算しております。

■ 株式分布状況



ホームページのご案内

URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp>

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様へのタイムリーなIR情報の開示に努め、施工例、新商品情報も随時更新しています。英語版・中国語版・韓国語版も今後ますますの充実を図ってまいります。

